

2022年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏名：関根 千津（せきね ちづ）
現職：株式会社住化技術情報センター代表取締役社長
略歴：1989年3月 東京工業大学総合理工学研究科修士課程 修了
2002年 東京工業大学博士（工学）取得
1989年4月 住友化学工業株式会社（現 住友化学株式会社） 入社
2013年4月 住友化学株式会社 理事
2019年4月 株式会社住化技術情報センター 取締役副社長
2020年6月 同 代表取締役社長

経営協議会委員の在任年数：0年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：なし

【選考理由】

関根 千津 氏は、住友化学工業株式会社（当時）入社以降、ディスプレイ材料の開発、有機 EL ディ스플레이及び有機 EL 照明の事業化を担当してきた。住友化学株式会社理事を経て、現在は株式会社住化技術情報センター代表取締役社長に就任している。また、化学を専門とする研究者として、日本学術会議会員、科学技術振興機構戦略的創造研究事業 CREST の領域アドバイザーを務める他、東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（第8期修了）を通じた幅広いネットワークを有するなど、人類社会が直面する地球規模の課題に関し、東京大学が有するあらゆる分野の英知を結集してその解決に取り組むことの重要性に理解と共感を示されている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。